

このように、複式学級のよさを生かした指導を行うことで、次のような効果が期待される。

複式学級のよさを生かした指導	期待される効果
あ	ガイドだけでなく全員に授業の見通しをもたせることで、自分たちで学習を進める態度や力が身に付き、学習の進行でのつまづきが少なくなり、より主体的に学習に取り組むようになる。
い	全員に授業の見通しをもたせることで、ガイド学習や話合いでつまづいたときに、全員で協力し合うようになる。
え	教師の直接指導の時間を少なくすることで、個別対応をする時間が十分に確保できるようになる。

(2) 共通点と相違点を生かした話合い（関連する複式学級のよさを生かした指導 **い** **え**）

＜考えの共有＞を図るために、資料8のように、互いの考えの共通点と相違点を捉えさせ、自分の考えに生かす話合いをしている。

互いの考えの共通点と相違点を捉えさせるために、考えと理由を分けて書いたり話したりさせ、同じような考えをまとめて類型化し、互いの考えと理由が明確になるようにしている。また、共通点はよりよい考えを導き出すような学習をまとめていく際に、相違点は振り返りの際に他者の考えを生かしていけるように活用している。

その結果、自分や他者の考えだけでなく、考えの理由までを理解しようとする子供たちが増えてきた。さらに、考えの理由を理解するために、他者の考えに質問することが大切だという意識が高まってきた。

このように、複式学級のよさを生かした指導を行うことで、次のような効果が期待される。

【資料8 共通点と相違点のよさ】

共通点のよさ	相違点のよさ
同じ考えにふれることで、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	多様な考えにふれることで、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。



【全員での話合いの様子】

複式学級のよさを生かした指導	期待される効果
い	全員の活動（全員の考えの可視化、全員の考えの発表、全員の考えを基にした話合い）を保証することで、一人一人が責任感や自己有用感をもち、より主体的に学習に関わるようになる。
え	必要に応じて教師がコーディネーターとして関わり、話合いや考えの類型化の仕方を子供目線で繰り返しアドバイスすることで、自分たちでできるようになる。